

## 研究テーマ

「医療的ケア児支援システムが医療的ケア児家族に与える影響：縦断研究による効果測定」

## 研究の背景

医療的ケア児の保護者（以下、家族ら）の医療的ケア児の療育への心理的負担は極めて大きく、家族らのメンタルヘルスの改善は大きな課題の一つとなっている。2021年度より地域における医療的ケア児の支援体制（以下、新システム）が本格的に開始された。新システムでは、相談援助機能やマネジメント機能を有する医療的ケア児等コーディネーターが各自治体に配置されることで、レスパイトといった家族支援の強化や、地域の社会資源開発が促進され、家族の負担軽減につながる事が期待される。

これまでの調査研究において、現状の家族らの心理的負担を科学的にとらえそれらの推移をおさえた縦断研究は実施されていない。新システムが本当に家族らの生活の質の向上や心理的負担の軽減に資するものかを検証するためには、科学的な手法により客観的に家族らの心理的状態を測定し、制度や政策がどの程度それらのデータに影響するかを実証的に検証する必要がある。

## 研究の意義

医療的ケア児とその家族のための支援策が強化されている。家族らのメンタルヘルスの状況などを科学的データとして収集し、それらのデータがどのように推移するか、時系列的に追跡していくことによって、新システムが家族らのメンタルヘルスの改善に資するものであったかを検証する。

新システムが本格的に始動するこの領域において、新しいシステムが本当にユーザーにとって有益なシステムであるかを実証的に検証する。この新システムが有効であることが実証されれば、我が国が目指す地域共生社会の実現に向けたシステムの一つとして提案できるのではないかと考えている。

## 目的

本研究の主な目的は、その新システム（主に医療的ケア児支援センターや医療的ケア児等コーディネーターの配置と実行力）が、家族らのメンタルヘルスの改善につながるか実証的に検証することである。